



学校は、今...

SCHOOL REPORT ⑤

元気な1日のスタート
朝の活動

●指導課 ☎ 23局 3679

学校生活に前向きに取り組むためには、落ちついた雰囲気でも気持ちのよい1日をスタートさせることが大切です。各学校では、朝の活動で、ドリル学習やミニ集会、合唱などに取り組んでいます。今回は、各学校の取り組みの一部をご紹介します。



▶全校で行う群読

楽しい群読が響く学校(高松小学校)

全校で毎朝、詩の群読に15年以上も取り組んでいます。10月の詩は、くどうなおさんの「じゃんけんぽん」と「ぼいばい・たいそう」でした。どの教室からも、息の合った声が聞こえてきます。「みんなで声を合わせるのが楽しいね」「詩の場面が想像できるよ」など、子どもたちは群読が大好きなようです。月曜集会の全校で行う群読にも、楽しく取り組んでいます。

感性を高める読み聞かせ活動(衣笠小学校)

毎週木曜日の朝に、すべてのクラスで15分間の読み聞かせを行っています。読み聞かせをするのは、PTAや地域のボランティアの方々です。読み聞かせが終わると、子どもたちから「今日のお話、おもしろかったね」「勉強になった」などの声が上がります。読み聞かせは、子どもたちの感性を豊かにする大切な時間になっています。



▶ボランティアによる読み聞かせ



▶朝の「しせい体そう」

姿勢はバッチリ 六連っ子(六連小学校)

「毎朝、『しせい体そう』があります。スクワットや、腰をぐるぐる回す体操をすると、シャキッとしていい気持ちになります。私はこの体操が大好きです」(六連小学校2年生女子)『しせい体そう』は、授業中の姿勢が悪い児童をなくそうと5年前に始まりました。この体操のおかげで、背筋がピンと伸びた児童が増え、授業中の集中力も増したように感じます。

読書で落ち着いた1日のスタート(野田中学校)

子どもたちは朝読書の時間、をいつも楽しみにしています。「本は、いろいろなことを教えてくれる大切なものです。推理小説は、いつ犯人が分かるかなど、ページをめくるたびにドキドキします。自伝などを読むと、その人の体験したことや苦勞、生き方がわかります。この時間を大切にして、たくさん本を読み、多くのことを学びたいです」(野田中学校1年生男子)



▶朝の読書